

医工連携推進協議会通信

令和4年夏季号（令和4年6月発行）

事務局：米子市東町 161-2
米子市役所第2庁舎1階
TEL/Email：(0859)57-5226
keniki-ikou@sea.chukai.ne.jp

【ごあいさつ】 会長 坂口平兵衛（米子商工会議所会頭、中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会長）

本協議会の構成団体、並びに賛助会員企業の皆様におかれましては、日頃より本協議会の事業活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

このたび「中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会長」の交替に伴い、今年度から2年間、本協議会長を務めることとなりました。今後さらに産業界と行政との連携を強めるとともに、ニーズ収集・情報提供に力を入れることで、賛助会員企業相互のマッチングを推進していく所存でございます。

本協議会は、中海・宍道湖・大山圏域市長会の委託を受け、平成29年（2017年）10月の設立以降、今年度で6年目を迎えました。中海・宍道湖・大山圏域の医工連携の推進を目指し、精力的に活動してきました結果、徐々に成果を上げてきているところではありますが、ここ数年来の新型コロナウイルス感染症の影響による急激な社会状況の変化に対応した、より一層効果的かつ積極的な事業運営が求められています。本協議会としましては、この変化を一つの契機ととらえ、新たにステップアップした事業展開を図りたいと考えているところでございます。

令和4年度におきましては、これまでの活動の継続的な推進に加え、新たに4点（①医工連携のビジネス化の推進、②各市・各県施策の横軸的役割化、③「医・工・福」連携の推進、④何でも相談機能の充実）の事業基軸を立てることとしました。これにより、中海・宍道湖・大山圏域の行政連携をベースとした本協議会の特性を活かしながら、医療機関・福祉施設・産業界にもメリットのある「創造的な医工連携推進事業」を組み立てていきたいと考えています。

構成団体・賛助会員企業の皆様には、引き続き本協議会の事業活動への積極的な参画をお願いいたしまして、会長就任並びに新たな事業展開に向けてのご挨拶とさせていただきます。

令和4年度「中海・宍道湖・大山圏域 産学・医工連携推進協議会総会」

～令和4年6月24日・書面審査により開催～

令和4年度当初においても、依然として新型コロナウイルス感染が落ち着いた状況であったことから、誠に残念ながら、一昨年度・昨年度と同様に、今年度の通常総会も書面審査により開催することとしました。ただし、構成団体のご意見やご意向を直接に伺いたく、あらかじめ事務局から各委員を訪問して説明と意見交換を行いました。

- ・議案第1号 令和3年度事業報告並びに収支決算について【報告・承認案件】
- ・議案第2号 令和4年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について【議決案件】（※事業計画概要・裏面に記載）
- ・議案第3号 役員改選について【報告・承認案件】

各委員の審査結果を令和4年6月24日に取りまとめたところ、全会一致で可決・承認をいただき、提出原案のとおり成立しました。

本協議会は、これに基づき令和4年度事業を積極的かつ効果的に実施して参りますので、構成団体・賛助会員各位のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

【ビジネスマッチング 商談・展示会 2022 in 松江】開催！

〈中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業〉

「山陰（鳥取・島根）最大級のB to Bイベント！」ものづくり企業を中心に、圏域内外から幅広くエントリーを募り、企業間の取引拡大・連携強化を図る山陰最大級の商談・展示会が、下記のとおり今年度も開催されます。

- 日時：令和4年10月13日（木）9:00～16:30
- 会場：くにびきメッセ 1階大展示場（松江市）
- 参加費：無料
- エントリー受付期間：7月26日（火）まで（HP <https://www.shoudan.info/>）
- お問合せ先：中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会事務局
まつえ産業支援センター（TEL:0852-60-7101 FAX:0852-25-0300）

エントリー募集中！
詳しくは下記まで



ビジネスの絆を結ぶ、山陰最大級のBtoBイベント
令和4年 10月13日
くにびきメッセ
商談・展示会 2022 in 松江
参加費 無料
エントリー企業募集中!!
圏域外からの発注企業同時募集!!
7/26

中海・宍道湖・大山圏域 産学・医工連携推進協議会 令和4年度事業計画（概要）

1 令和4年度実施事業の方向性

基本線としては、これまでの実施事業（下記(1)~(6)・令和3年度事業計画指針）の継承をメインに据えていくが、依然として先行き不透明の社会状況を注視しながら、臨機に、できる限り効果的な活動・対応を図っていききたい。加えて、既存人脈の最大限活用と後継者養成も重要課題として取り組んでいく。

- (1) 現在進行中の案件の具現化
- (2) 医療機関から得たニーズの再検討
- (3) 大学とのマッチング協力の推進
- (4) 圏域外の部材供給先の探索と商談作り
- (5) これまでの実績検証と来年度以降の方向性の検討
- (6) その他必要な業務（既存人脈の活用、人材育成等）

2 新たな基軸の構成

依然として先行き不透明の社会状況を注視しながら、臨機に、できる限り効果的な活動・対応を図っていくことが必要であると考え、新たな活動基軸たる下記4項目についても指針として掲げ、積極的に取り組んでいく。

(7) 医工連携のビジネス化の推進

製品開発における最大の課題は、それがビジネスとして成り立つか否かである。医工連携においても同様であり、いくら要望を受けて製品開発に至っても、それが利益を生じるほど売れなければ意味がない。

したがって、開発商品の広報宣伝を進め、販売促進に繋がる道を模索しながら、一つでも成功事例を作っていくことを目指す。なお、昨年度の「マスクサポート」の販売支援に関連して、初めて圏域の医薬品・医療用品等の卸売販売業者と繋がりができており、そのチャンネルも活用していく。

(8) 各市・各県施策の横軸的役割化

本協議会の活動は中海・宍道湖・大山圏域を対象としており、一の案件に異なる自治体の企業や圏域外企業が参画するケースも稀ではない。そのような場合、各自治体間の十分な連携が取りにくいのが実情である。

そのため、本協議会として、各市のものづくりに関する事業（松江ものづくりネット、出雲・米子の医学部との連携など）との連携強化・情報共有を進め、県境を越えて各市施策が充実するよう、圏域企業相互連携のコーディネート等、横軸的な役割を担うことを目指していく。

また、本協議会は独自の補助制度を持っておらず、経費的な支援は各自治体をお願いすることになるが、複数自治体の企業が参画している案件に対する補助制度が整備されていないと思われるので、その点は市長会での検討をお願いしたい。

(9) 「医・工・福」連携の推進

感染予防対策が非常に重要な現状下、医療機関のみならず、福祉施設・介護施設等においても同様の問題を抱えており、福祉・介護との連携を新たなターゲットとして取り上げる必要がある。

今後ますます需要が増える福祉・介護施設からのニーズを得て開発等に活かすこと、また、Pkensaの梱包・組立てや、マスクサポートの販売促進に障がい者支援施設が参加しているように、新たな方面での連携拡大についても取り組みたい。なお、令和3年度において、「マスクサポート」の寄贈を契機として、社会福祉関係3団体が賛助会員に加入されており、この方向性も推進していく。

(10) 何でも相談機能の充実

医療機関からのニーズを再検討したところ、現場が求めているもののうちの多くは、新規製品開発を検討するまでもなく、従前から既製品として存在し、それを現場が知らないだけ、という実態が判明した。

そのような情報を現場に提供する機能を有する、いわゆる「医療・福祉・介護医療等機器情報お助け隊（仮称）」的な相談窓口を設け、何でも気軽に相談を受けることで、関係機関との緊密な関係を構築していく。また、相談内容に応じて、関連する業種の賛助会員にサポートを依頼するような連携も図っていく。

※ 令和4年7月から「医工福連携・なんでも相談コーナー」を開設します。既製品でこんな便利な器具がないか、連携できる企業を探している、開発商品の販売方法を相談したい等々、何でもお気軽にお問い合わせください。詳しくは本協議会ホームページ「医工福連携・なんでも相談コーナー」をご参照ください。

【事務局からのお知らせ・お願い】

〈担当〉事務局：大江淳史・山根修 アドバイザー：眞野博光
TEL：(0859)57-5226 Email：keniki-ikou@sea.chukai.ne.jp

賛助会員企業の皆様へ：

- ・紹介ページの内容に変更等がありましたら、メールで変更内容をお知らせください。
- ・まだ紹介ページを作成されていない賛助会員は、随時申込みを受け付けています。
- ・製品、技術紹介ページも引き続き募集していますので、情報提供をお願いします。

構成団体の皆様へ：

- ・本協議会の活動推進のため、医療機関、福祉施設、介護施設等からのニーズを常時収集しています。紹介いただける施設等がありましたら、ぜひお知らせください。
- ・今年度の事業計画の一つである「医・工・福連携」を推進するため、賛助会員に加入いただける医療機関、福祉団体等がありましたら、ぜひ事務局にご紹介ください。

情報募集中！

HP・QR

